



# おおさか



## ようこそ ケベッククラブのみなさん！



カナダのケベッククラブの一行19人が西東京クラブに1週間ステイしたあと来阪、4月3日から10日まで14の会員宅に滞在、大阪、京都、神戸のグループパーティーを皮切りに京都・奈良ツアーやフリーデー、KKRホテルでのフェアウェルパーティーなど盛りだくさんの行事で交流を深めた。おまけに例年より満開時期が遅かったのが幸いして各所で桜を堪能することが出来た。一行は10日以降、帰国組と国内観光組（飛騨高山、金沢、広島など）、台湾訪問組に別れ、日本を後にした。

《受け入れスケジュール》	
3/27	来日（西東京クラブと4月2日まで交流）
4/3	西東京クラブからホスト宅に到着
4/4	大阪、京都、神戸グループ主催のパーティー
4/5	フリーデー
4/6	京都ツアー（知恩院・青蓮院・二条城）
4/7	奈良ツアー（東大寺・春日大社）
4/8	フリーデー
4/9	フェアウェルパーティー 大阪城ウォーキングツアー
4/10	帰国・国内観光など



### Host Coordinator 奮闘記

金山 忠夫

HCは、今回が初めての体験だった。先方のAC、Mr. Gillesとメール交換を開始したのは、去年の6月。以来、彼とのメールの送受信は70回を超えた。特に最初の頃のメールは、お互いの交流の基本設計に関わる重要なやり取りが多かったので、行き違いや誤解のないよう池田会長へ相談し文脈を見ていただく等の協力を得た。12月に漸くマッチングリストの完成まで漕ぎ着けた。受け入れ行事の立案、実施については、サブHCの山本さんはじめ、分担をお願いした内山さん、河村さん、観光ガイドをお願いした木原さん、朝倉さん、またローカルパーティーの世話役さん達に、大変お世話になった。受け入れが成功したのは、ひとえに多くの皆様のご協力の賜物と感謝している。

## 京都ツアー

4月6日、アンバサダー、会員ら合わせて43人が桜満開の京都を楽しみました。貸切りバスで京都駅を出発、鴨川沿いの桜並木に出迎えられて、まずは知恩院へ。三門前で記念撮影。そして隣の青蓮院門跡に移動して拝観。建物や内装を鑑賞した後、庭園を周遊しました。皆さん日本に造詣が深く、しっかりと日本文化・風景を楽しんでおられました。

## 知恩院



## 円山公園



そこから円山公園へ。お目当ては「枝垂桜」。美しさにため息を漏らし、グループ別

に写真撮影。昼食は精進懐石風の料理。会員の方にも好評で、皆さんおいしいと完食されました。



## 青龍殿大舞台

昼食後は、青蓮院の山手にある「青龍殿」。初めての所でしたが、清水より広い舞台があって京都市内が一望できる素敵なおところでした。



## 二条城



最後は二条城。東大手門も修復が完了しており、城内の襖絵や天井などの美術工芸を楽しみ、庭園を散策し豪華な唐門前で写真。雨にもあわず、いたるところで桜に迎えられ、日本の粋を満喫していました。少し困ったのは、皆さんフランス語で会話され、英語がはっきり通じる方が限られていたので、彼らの会話がわからず、当日ガイドを担当した私の説明が通じているのか、心配しましたが、皆さんの笑顔から察するに満足された一日だったと思います。（木原利幸）

## 奈良ツアー

4月7日、前日の京都に続いて奈良ツアーが行われた。アンバサダー18人（1人欠席）とホスト、デイホスト合わせて一行37人は、近鉄奈良駅8階の中華レストランで昼食の後、興福寺、東大寺へと歩を進めた。前日の予報で雨が心配されたが、ツアー中は何とか傘なしで歩め、桜も七分咲きで楽しめて良かった。



## 興福寺

## 東大寺

東大寺では大仏を間近で拝観し、改めてその大きさに驚くと同



時に詳しい説明も聞く事が出来た。東大寺の中で買い物をする人や、御朱印帳を待つ人達もいて、早く出た人達には出口で待ってもらい、少し気の毒ではあった。

## 春日大社

全員揃ったところで、駅に向かう人達と春日大社の拝観を希望する人たち2組に分かれ解散した。春日大社は改修が済んだところで、社の朱色が周りの緑に映えてとても美しく、アンバサダーたちは歓声を上げて喜んでいました。（河村千津子）



## Thank you message Gilles Hardy (AC)

A big thank you to Mr. Tadao Kanayama, host coordinator, with whom we had excellent communication and a lot of help to make this journey a success. He helped me to organize the big luggage transportation by «takkyubin», he bought train tickets and made seat reservation for the seven (7) Ambassadors returning to Quebec. We were waiting since spring 2016 to meet you and share our similarities and our differences to create lasting friendships. We were eager to know more about the Japanese culture.



## フェアウェルパーティー



一行がインバウンドして7日目の9日、大阪市中央区のKKRホテルでフェアウェルパーティーが催された。アンバサダー19人を含む52人が出席、正午過ぎから木原副会長の司会で始まり、池田会長の歓迎スピーチ、金山HC、ケベッククラブのジルACの挨拶に続き、各ホストがアンバサダーを紹介したあと、河村副会長の発声で乾杯、コース料理に舌鼓を打った。昨年は5月に同ホテルでパーティーが開かれたが、大阪



城の桜は既に青葉だったが、今年はまさに満開。会場から見下ろす城内外の見事な桜にアンバサダーは「ワンダフル」を連発していた。今年も近畿青森県人会の寺崎達也・中川トシユさんによる津軽三味線や民謡が披露されると、中には演奏や踊りに感動して涙するアンバサダーもいた。続いてケベック側の全員がステージにブルーのTシャツ姿で上がり、カナダ民謡「Alouette」（日本名・八百屋さん）を歌うと、大阪クラブはお返しに「サクラ、サクラ」の合唱を披露した。このあと恒例の河内音頭。法被をまとったアンバサダーが、見よう見まねでユーモラスに踊る光景がみられ、2時間半に及ぶパーティーを終えた。



## 大阪城ツアー

引き続き大半の出席者が、ホテルから大阪城までのウォーキングに参加。満開のサクラを眺めながら3つのグループに別れ、大勢の花見客の中を散策した。アンバサダーたちは、ガイド



役の江本、木原、朝倉3氏から城の歴史や由来の説明を熱心に聞き入っていた。



## 京都 Kyoto

# WELCOME

# 地域交流イベント

初夏のような日、岡崎を巡りました。アンバサダー4人、ホスト3人、デイホスト3人の計10人。まずインクラインの桜並木を楽しみながら十石舟乗船場へ。船上から青い空、朱の鳥居、桜を見上げるのは乙なものでした。次は南禅寺。三門の楼上から京の町を見下ろしました。平安神社の社殿を見た後、錦市場へ。石井さんご紹介の甘味処「陶あん」で一休み。清水焼の器でスイーツを。締めは恒例の居酒屋。初鯉の造りなど旬の和食も味わわれ、飲み物も随分進んでおられました。(大下令子)



## 大阪 Osaka



大阪の地域交流は、府下河南町にある宮城さんの家に9人のアンバサダーを含め32人が集まった。宮城さんの家は、250年前の寛政年間に建てられた代官のお屋敷。その風情が今も残っていて地域交流の場所としてはうってつけ。着物の着付け、お茶会、お庭での撮影会、朝倉さんの南京玉すだれと、例年より賑やかな交流会が出来た。ポットラックパーティーでは、ケベック料理のスイーツやお寿司、スープやサラダ、フルーツやぜんざいと20種類以上

の料理が準備され、和やかな談笑が夜まで続いた。(金山順子)

## 神戸 Kobe



アンバサダー6人と会員ら合わせて24人が参加して、中澤さんが住むマンション最上階のパーティールームで開催しました。会員の皆さんが持ち寄った、赤飯、バラ寿司、サンドイッチなどに舌鼓を打ったあと、アンバサダー達が、書道やケン玉、折紙などに挑戦、日本文化を実際に体験しました。デコ寿司作りにも挑戦してもらい、上手な仕上がりもあれば、失敗作までいろいろ。一番の目玉は福原さんの知人2人によるロープや新聞紙を使ったマジックショーで大いに盛り上がり、女性二人の司会で終始和やかな雰囲気でした。(吉良末子)



# ステイホストしました



Colombe から 15 回ものメール。彼女は初渡航でややナーバスに。でも、お会いする前からすっかり友達のような気分。「グルテン・デアリフリー」と記載があったので心配しましたが、滞在中は何の問題も無く箸を使い日本食を好んで食べておられました。京都で訪れたい場所に立ち感動されている姿を拝見し、3年ぶりのステイホストで怒涛のような一週間でしたが清々しい気持ちになりました。家族をはじめ、まわりの方に助けられました。【大下令子】

この度、初めてホスト体験をしました。さて、私共の氏神様である枚方市の春日神社で旅の安全祈願、玉串奉納、絵馬に願いを書いての奉納や、宮司のご厚意で神官、巫女装束に着替えての記念写真等の神事体験をされたのが一番の思い出に。習字



教室を開いている友人宅で習字にもチャレンジ、各自の名前をカナ書きもしました。周辺は日本の原風景が残っており、異なる習慣や風景に感激の様子でした。皆様有難うございました。【石井宏子】



私の家にステイした Aline は温和でよく気が付く人で、とても楽しい一週間を過ごしました。ただ一つ困ったことがありました。彼女が買いたかった「旅行用のキャリーバッグ」を探るとき、あちこちのお店や売場にみんなで行ったのですが、どんなバッグが欲しいのか、彼女の気持ちが詳しくつかみきれず苦勞しました。出発の前日やっと希望に添うものが見つかり、本人も大喜び。無事次の旅行へ出発することができてホッとしました。【喜田ひふみ】

## ステイホスト・ショートコメント

\* 朝倉隆夫・清美…母の入院とキャロルの体調不良で、連日、予定を変更しました。十分に交流する余裕がなかったと申し訳なく思っています。キャロルとジャン・ギは、伝統のスイーツを作ってくれ、地域デーの日にみんなと食べました。

\* 池内サチ子…今回、初めてステイホストを引き受けました。京都観光の他のスケジュールは、全て参加出来ました。畳屋、和菓子屋、節句人形製作所など日本ならではの店を見学してもらい、日本の良さを少しでも理解してもらえたかと思えます。

\* 宮城和子…明るくて話好きなディアンヌとゆったり落ち着いたジャン・ギ。お二人はケベックでホストの経験があり、FF の精神をよく理解していました。できる限り家の近くでゆっくりと日本の文化・習慣・食事を楽しみました。

\* 内山充子…まったく対照的な二人のアンバサダーと楽しく過ごす事が出来ました。連日 1 万以上歩き、ワインと日本酒の好きな二人に毎晩付き合いました。雨模様の 15 日に、しっかりと静かな哲学の道を歩いて貰えたのが最高の思い出になりました。

# ステイホストしました



アンバサダーはとても明るく気さくな二人でした。まだ若いのでとても元気。ご主人の Andre は料理が趣味で、私のレシピを盗みたいと言ってフリーデーの日には私と一緒に春巻や天ぷらを作りました。奥様の Marjolayne は優しい人で二人とも英語が出来るので話はずんで楽しい受入れでした。松香さん宅への二泊三日のショートステイも大変喜んで

くれました。松香さんご夫妻ありがとうございました。お陰様で助かりました。【宗廣はつ子】

今回は私がもう一度行きたいと思っていたケベックからのお客様で楽しみにしていました。老齡のご婦人でしたが、とてもフレンドリーな方。お店や電車の中でお会いする人にケベックへ「どうぞ」と案内していました。でもフランス系の方だと感じましたのは 良く言えば 我が道を行く、悪く言え

ば我儘でした。満開の桜に私達日本人は感動しますが、写真は撮るもののもう一つのようなものでした。でも桜のゼリーがお気に召したようだったのでお土産に差し上げました。【山本 万亀子】



2回目のステイホストさせて頂きました。Margaret さんは、日本の歴史、文化に興味を持たれよく勉強されていました。三日連続の観光で、遠出は大丈夫かなと心配していたのですが、彼女のたつての希望でフリーデーに姫路城と好古園に行きました。お天気も良く、彼女も上機嫌でした。しかし会話が互いに通じなかったことも手伝って、正直、少しばかり後味の悪い交換となりました。

会長、E.D 会員の皆様、とりわけ吉良さんには大変お世話になりました。【中江書子】

## ステイホスト・ショートコメント

\* 金山順子…フリーデーの伏見散策で満開の桜を目にしてとても感激していました。運河を昔ながらの十石船でクルーズ、日本酒の酒蔵見学、お昼は焼き鳥に舌鼓。たこ焼きの実演を面白そうに見ていたが、彼らはタコが大の苦手でした。

\* 細井八千代…ご夫婦の受入れは2回目でした。事前に得る情報も大事ですが、会ってから自分で直接聞いて得る情報の大切さを感じました。お二人の会話はフランス語でしたが、お互い努力して英語で会話し、楽しく過ごした8日間でした。

\* 河村千津子…Ms. Ghislaine はケミカルはなるべく避けたいというポリシーを持っていた。到着した時から咳き込み、薬剤師と3人で相談の上咳止めを買った。徐々に咳が収まり彼女も私もホッと胸をなで下ろした。

\* 松香正俊…仏語が母国語で夫婦別姓が原則なのはカナダではケベック州だけ。それでも夫妻とも英語が流暢なのは羨ましい限り。岡山城に無料で殿様、お姫様の着付けサービスがあることもネットで知っていたのには驚いた。

# World Friendship Day walking ツアー in Kyoto

3月5日、いまにも桜が咲きそうな暖かく素晴らしい天気の下、京都市内を散策しながら名所旧跡を訪ねるウォーキングが行われました。フレンドシップフォースが創設され今年で40周年になるのを記念して開いたもので、当日は会員24人が参加しました。大阪、神戸、京都から集まった会員たちは、午前10時半に市営地下鉄蹴上駅を出発して、インクライン、南禅寺、哲学の道、法然院、銀閣寺までの約4キロ



を事前に下見をしてこの日に臨んだ朝倉隆夫さんの案内で歩きました。標高差のある琵琶湖疎水を行き交う船をレールに乗せて斜面を引き上げるインクライン（傾斜鉄道）の跡地を見たり、サスペンスドラマで有名な南禅寺水路閣などについて詳しい説明を聞きながら歩き、昼食は法然院近くの湯豆腐店「喜さ起」で名物の湯豆腐やごま豆腐に舌鼓を打ちました。ガイドをして下さった朝倉さんに感謝します！！（内山充子）



待ち焦がれた早春、晴天に恵まれ観光客も少なく、古都を巡るにはいいシーズンでした。何度も訪れている京都ですが、朝倉さんの解説で何気ない風景に悠久の歴史が有ることを再認識させられました。（萬野満里子）

春らしい好天に恵まれクラブの方達と久しぶりの楽しい再会でした。気の置けないFFの仲間と過ごす時間はとても楽しく、また次の

exchange に対しての情報交換やヒントが得られたのもうれしかったです。（金山順子）

インクライン、琵琶湖疎水や京都の歴史など、朝倉さんのお話を聞きながらの京都散策はとても興味深いものになりました。哲学の道は観光客もほとんど無く静かで趣があり、時期的にもとてもよかったです。（岩田幸子）

今回は、京都文化を体感出来、充実した一日でした。道中、忘れていた歴史を思い起こす解説をして頂いた朝倉さんにはお礼申し上げます。歴史好きな私は、何倍もの楽しさを体験できました。（安藤ツヤ子）



# 新企画 行ってきました

行先 世界一周クルーズ

期日 2016年12月10日～2017年3月23日

経路 神戸港発着 西回り(シンガポール～喜望峰～ホーン岬)



この度105日間かけて18ヶ国に寄港しながら南半球一周の船旅(ピースボート主宰)をしてきた。船には日本人を中心に約千人の乗客と約600人の乗員が乗り込み、神戸港を出港。マダガスカル島、イースター島、タヒチ、南極など回った。各寄港地は、たった半日か一日の滞在だったが、事前に説明があり予備知識を持って上陸、現地の人たちとの交流も楽しめた。どの国も美しく平和に見えるが、いまだに奴隷時代や植民地時代の傷跡が残っているばかりでなく、今も迫害が行われている所もあるという。一つ嬉しいサプライズがあった。光栄にも、あの「世界で一番貧しい大統領」と言われたウルグアイのムシカ元大統領が乗船してこられた。私達全員が大興奮で迎えた。そして彼の信念に満ちた力強い演説を直に聞く事が出来、その時の感動は何時までも忘れられないだろう。船内での生活は、色んなイベントや企画があり、一種のカルチャースクールで、そこに下宿しているという感じだ。意外と毎日が忙しく、朝、船室出たら夜まで帰らない事も。私は寄港地で

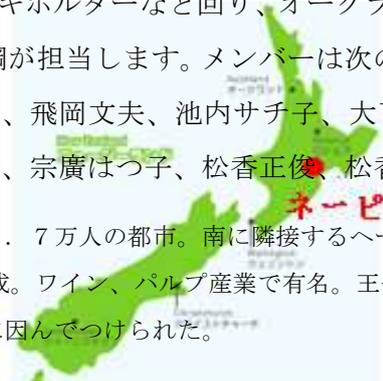


現地の人をインタビューをする企画に参加したが、良い思い出になった。また趣味のマジックをみんなに披露することも出来た。食事は、朝は大体、デッキで海を見ながら、昼はメニューによってデッキか室内のレストランで、夜は室内の定食を取っていた。定食はとてもヘルシーで、デッキと両方に行く人もいた。「天高し モアイ坐し在す 孤島かな」  
イースター島にて 江本 玲子

## ネーピア渡航

今年のアウトバウンドはニュージーランド北島のネーピア。一行は17人で10月27日に関空を出発、1週間ホームステイしながら、現地のメンバーと盛りだくさんのイベント、ツアーで交流します。日本大使館の仲介でネーピアにある日本人が経営する大沢ワインズ(本社・滋賀県米原市)の見学も予定しています。ステイの後、南島の世界遺産ミルフォードサウンドや謎の丸い巨岩モセラギボルダーなど回り、オークランドを経由して11月8日に帰国します。ACは松香正俊、サブACは池田政綱が担当します。メンバーは次の通り(敬称略)古川マツエ、内山充子、山本万亀子、森本篤子、細井八千代、飛岡文夫、池内サチ子、大下すみ子、河村千津子、今井綾、山田多津美、金山忠夫、金山順子、池田政綱、宗廣はつ子、松香正俊、松香照子。

《ネーピア概要》 首都ウェリントンの北東220キロに位置する人口5.7万人の都市。南に隣接するヘースティンズとともに「双子の都市」と呼ばれ、FFネーピアの会員も双方の市民で構成。ワイン、パルプ産業で有名。王子製紙の工場があることから苦小牧市と姉妹都市。同社のティッシュ「ネピア」は同市に因んでつけられた。



## 米国からの高校生受け入れ中止

米ジョージア州の高校生が6月に来日予定でしたが中止となり、来年に延期されました。

# 来年度の受入・渡航先決まる



**受入れは セントラルコーストクラブ(オーストラリア)** オーストラリアで2番目に創設(1986年)された名門クラブ。セントラルコーストはニューサウスウェールズ州に位置し、シドニーから北に約1時間(80キロ)。現在、会員数は20人。3月下旬(詳細未定)に来日、大阪クラブと熊本クラブ訪問する。HCは河村千津子副会長、サブHCは細井八千代委員が担当する。

**渡航は ホバートクラブ(オーストラリア)** オーストラリア大陸の南東部の沖約240キロに浮かぶタスマニア島にある。北海道より小さく九州より大きい島でオランダの探検家タスマンが発見したことから名付けられた。島の人口は約51万人。中心地はホバート。クラブの会員数は35人で年2回受入れ(受入れ可能数15人)をしている。樹齢2千年の原生雨林が世界遺産に指定されているほか、タスマニアデビル、ワラビーなど珍しい動物が生息しており、「世界で最もピュアな島」をキャッチフレーズにしている自然豊かな島。アウトバウンドの人気はオーストラリア24のクラブ中、屈指である。渡航時期は9、10月を予定。ACは池田政綱会長、サブACは金山忠夫事務局長が担当する。

## 7月以降の年内スケジュール

7月9日	ニュースレター59号発行・月例委員会
7月15日	中部ブロック会議(三重クラブ主催・ホテルグリーンパーク津)
8月13日	月例委員会
8月24~28日	世界大会(イギリス・マンチェスター)
9月10日	渡航説明会・月例委員会
9月23日	FF40周年記念第2弾『堺の歴史を巡るチンチン電車の旅』
10月1、2日	日本大会(福島県郡山市・郡山ビューホテル)
10月8日	渡航勉強会・月例委員会
10月27~11月8日	ニュージーランド・ネーピア(ステイ後、南島周遊)
11月19日	渡航報告会・月例委員会
11月23日	総合フェスタ(大阪駅前第二ビル)
12月17日	忘年会(神戸グループ担当)、ニュースレター60号発行・月例委員会



**堺の歴史を巡るチンチン電車の旅**…FF40周年記念第2弾として9月23日に大阪・阿倍野から堺市まで路面電車に乗って通天閣や利晶の杜などを巡る「チンチン電車」の旅を開催します。詳細が決まり次第、お知らせします。企画・案内は朝倉隆夫・清美さん・河村千津子さん。

**呼称変更**…FFIは創立40周年を機にこれまでのExchange(交換)の呼称をJourney(交流)に変更すると発表。またExchange Director(交換委員長)を渡航の場合、Ambassador Coordinator(渡航責任者)、受入れの場合、Host Coordinator(受入れ責任者)と呼ぶことになりました。

### 編集後記

今回は10ページ特集。目玉はケベッククラブのインバウンド。初めてHCを務めた金山事務局長の奮闘記を読んで並々ならぬご苦労があったと推察しました。ステイホストの感想にも直接、間接に意志疎通の難しさがにじみ出ていました。でもアンバサダーは言葉の壁を越えて「日本流おもてなし」を十分に理解してくれたと思います。次はネーピア。どんな出会い、交流があるか楽しみです。(M)

編集発行 フレンドシップフォース 大阪クラブ  
発行日 2017年 7月9日 第59号  
事務局 〒573-0032 枚方市岡東町1-10  
金山忠夫 Tel&Fax 072-846-4435  
kanayama573@gaia.eonet.ne.jp  
ホームページ担当 飛岡文夫  
<http://ffosaka.pro.tok2.com/>  
編集人 松香正俊・河村千津子・細井八千代  
山田多津美・朝倉隆夫